

財政福祉委員会

説明資料

衛生研究所の移転改築について

平成30年1月22日

健康福祉局

目 次

	頁
1 整備の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 衛生研究所・生活衛生センターの概要・・・・・・・・	2
3 衛生研究所・生活衛生センターの主な事業内容	
(1) 衛生研究所・・・・・・・・	3
(2) 生活衛生センター・・・・・・・・	3
4 新衛生研究所の概要	
(1) 施設の概要・・・・・・・・	4
(2) 各階棟別構成・・・・・・・・	4
(3) 位置図・・・・・・・・	5
(4) 配置図・・・・・・・・	5
5 新衛生研究所の特色・・・・・・・・	6
6 改築工事の予算額・・・・・・・・	7
7 今後の予定・・・・・・・・	7

(参考図)

透視図 (外観)・・・・・・・・	7
------------------	---

1 整備の趣旨

- ・現在の衛生研究所は、建築後50年以上経過し老朽化が著しく、耐震基準を満たしていない施設である。
- ・平成23年度及び平成24年度の行政評価で、生活衛生センターは衛生研究所や保健所など他の施設と統合すべき（平成23年度）、衛生研究所は継続すべき（平成24年度）との意見が出された。
- ・このようなことから、衛生研究所と生活衛生センターの機能を統合することにより、新型インフルエンザなどの感染症を始めとする健康危機管理に的確かつ迅速に対応する技術的、専門的な拠点として整備するとともに、衛生研究所を移転改築する。

2 衛生研究所・生活衛生センターの概要

施設	衛生研究所	生活衛生センター
所在地	瑞穂区萩山町1丁目11番地	千種区若水一丁目2番33号
沿革	<ul style="list-style-type: none"> ・大正13年5月に城東病院（現東部医療センター）内に衛生試験所として開設 ・昭和19年7月に中村区日比津町へ移転改築し、衛生研究所と改称 ・昭和41年12月に瑞穂区萩山町へ移転改築 	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和15年5月に中川区八熊町に防疫所として開設 ・昭和36年2月に東市民病院（現東部医療センター）敷地内へ移転改築 ・昭和44年8月に防疫センターと改称 ・平成7年10月に改築し、生活衛生センターと改称
敷地面積	4,138.33㎡	1,158.11㎡
延床面積	5,373.39㎡ (屋外施設を含む)	1,498.87㎡
構造規模	鉄筋コンクリート造 地下1階地上5階	鉄筋コンクリート造 地上3階
職員体制	合計43名 所長 副所長 事務長 事務係（係長、主事4名） 疫学情報部（部長、主査2名、技師、研究員2名） 微生物部（部長、研究員10名） 食品部（部長、研究員9名） 生活環境部（部長、研究員7名）	合計23名 所長 主幹（感染症） 庶務係（係長、主事2名、運転士） 感染症対策係（係長、技師3名） 看護師、業務技師6名） 生活環境係（係長、技師2名、業務技師3名）

3 衛生研究所・生活衛生センターの主な事業内容

(1) 衛生研究所

- ・市民の健康を守るための科学的拠点として、感染症対策・食品・生活環境などの分野で各種事業を実施

試験検査	<ul style="list-style-type: none"> ・食品中の放射性物質の検査 ・食中毒や病原体等に関する検査 ・家庭用品中の有害物質に関する検査
調査研究	<ul style="list-style-type: none"> ・蚊やマダニのウイルス保有状況調査 ・建築物の揮発性有機化合物の室内濃度に関する研究 ・食品中の食品添加物分析法の研究
研修指導	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所職員を対象とした感染症等に関する研修 ・JICAからの外国人研修生に対する技術指導
公衆衛生情報 の収集・ 解析・提供	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザなど感染症の発生状況を収集、解析し、情報をホームページ上で市民へ提供

(2) 生活衛生センター

- ・市民の健康と衛生的な暮らしを守るため、各種事業を実施

感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症患者の移送 ・病原体等の検査検体の衛生研究所への搬送 ・衛生研究所と連携した蚊やマダニの生息状況調査
ねずみ昆虫 等対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・公園等におけるスズメバチの生息状況調査 ・苦情相談における保健所への技術的協力
啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生害虫出張講座の開催 ・市民向け講習会の開催

4 新衛生研究所の概要

(1) 施設の概要

区分	内容
所在地	守山区大字下志段味字穴ヶ洞地区 (なごやサイエンスパークAゾーン)
敷地面積	23,439.40 m ² (保存緑地9,000 m ² を含む)
延床面積	6,262.10 m ² (屋外施設を含む)
構造規模	研究所棟：鉄筋コンクリート造(免震構造) 地上3階建て 車庫・倉庫棟、駐輪場：鉄骨造 平家建て

(2) 各階棟別構成

区分	構成
研究所棟：3階	研究室(微生物部)
研究所棟：2階	研究室(食品部、生活環境部)
研究所棟：1階	研究室(疫学情報部、食品部放射能測定室)、展示コーナー、共同実験室、大研修室、試験検査室、工作室、事務室 他
車庫・倉庫棟：1階	移送車車庫、移送準備室、危険物倉庫 他
駐輪場棟：1階	駐輪場

※利用

5 新衛生研究所の特色

・衛生研究所と生活衛生センターで現在行われている業務に加えて、遺伝子解析部門と情報発信部門を強化する。

(遺伝子解析部門)

・ウイルスや細菌の遺伝子解析を迅速に行うことができ、原因不明であった感染症や食中毒を特定することができる先端の検査機器の導入を検討し、活用を図る。

・遺伝子解析関係の機器や施設を共有し、効率化を図る。

・遺伝子解析関係の機器を扱う研究員の人材育成を行うとともに、技術を共有し、緊急時にも対応できる体制を図る。

(情報発信部門)

・インフルエンザなどの感染症の予防に関する情報に加え、衣食住の衛生に関する試験検査や調査研究の成果を市ホームページ上に掲載するとともに、SNSの活用を検討するなど、情報配信を積極的に行う。

・新衛生研究所内に市民向け展示コーナーなどを整備し、情報提供の場を設ける。

・生活衛生センターで実施している衛生害虫出張講座のノウハウを活かして、新たに公衆衛生全般の普及啓発業務を実施する。

6 改築工事の予算額

区分	金額 (千円)
平成29年度	391,852
平成30年度～31年度 (債務負担行為額)	3,828,148

7 今後の予定

平成29年度～31年度	契約～建設
平成31年度	竣工・移転開設

(参考図)

透視図 (外観)



※イメージ図のため完成時とは異なる場合があります。

